

## 命を守るためには**備え**が肝心 非常用持ち出し袋を準備していますか

近年、大型台風や集中豪雨による大規模水害の危険性が高まっています。一方で、水害はある程度予測ができ、余裕をもって準備をすることで、身の安全を守ることができます。

命を守るため、非常用持ち出し袋を準備し、水害に備えましょう。

**問合せ**

危機管理課防災事業係  
☎内線418



### 非常用持ち出し袋とは?

避難時に、当面必要となる最小限の品を納めた袋が非常用持ち出し袋です。万が一のときにすぐ持ち出せる場所に準備しましょう。

### 何を備えれば良いの?

食料や飲料水、生活用品等自分にとって必要な物を備えてください。

〈例〉 水・食料品

▶飲料水 ▶非常食 等

日用品

▶ティッシュ ▶マスク 等

医療品

▶常備薬 ▶処方薬 ▶消毒液 等

貴重品

▶現金 ▶マイナンバーカード  
▶通帳 等

その他

▶衣類 ▶ラジオ ▶懐中電灯  
▶モバイルバッテリー

2・3面で、避難方法等を紹介します

## 水害から身を守るために

水害対策では、区民一人ひとりが、あらかじめ水害に関する知識を正しく身に付け、気象情報や避難情報をもとに、適切な避難行動を取ることが大変重要です。大規模な水害発生時に備え、日ごろから非常用持ち出し袋を家族と一緒に準備する等、事前の備えをお願いいたします。

区は、今後も関係機関と密接に連携し、区民の皆様との生命と財産を守る対策を強化してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

一部の地域は最も警戒レベルの高い緊急安全確保(命の危険、直ちに安全確保)が発令される等、緊迫した事態となりました。荒川区においては、大規模な被害は確認されませんでした。が、災害の発生リスクを考慮すると、油断することなく日常から備えておくことが極めて重要です。

区では、令和7年度から、一定の条件を満たすマンションや戸建て住宅を対象に、建物への浸水を防止する止水版を設置・購入するための費用の一部助成を開始しました。水害対策の一つとして、ぜひ、ご活用ください。

近年、気候変動の影響により、日本各地で大規模台風や線状降水帯が発生し、集中豪雨による河川の氾濫や浸水、道路の冠水等の被害が相次いでいます。

令和7年9月には、都内で記録的な大雨が観測され、23区内でも大規模な冠水や建物被害がありました。



荒川区長  
たさぐち かく  
滝口 学